



漕代小学校だより



松阪市立漕代小学校 令和6年10月7日(月) N0.15

ホームページ <http://www.koishirosho.com>

E-mail: koishiro2es@matsusaka.ed.jp 校長 橋本 恵美子

PTA 人権講演会・人権教育授業参観 9月28日(土)

たくさんの保護者の方に人権講演会・授業参観にお集まりいただきました。

人権講演会では、反差別・人権研究所みえ(ヒューリアみえ)の原田 朋記さんにご来校いただき、「わたしたちができることー今もある部落差別を前にー」と題し、ご講演いただきました。部落差別についての調査結果をもとに、部落差別は今もなお存在する事実と差別の解消を阻んでいるのは差別する側に問題があることをお話していただきました。この講演を聞いて、今後私たちおとなが差別解消に向けて、子どもたちにどのようなことを話し、どんな姿を見せていくべきなのか考えることができました。

授業参観では、それぞれの発達段階に応じて部落差別と同じ構図を持ついじめについて学んだり、部落差別の歴史を学んだりしました。

1年生は、自分の気持ち、友だちの気持ちを考えることができるようになる学習をしました。「急にプールに入れなくなったら、あなたはどんな気持ちか？」という問いに、悲しい気持ちや残念な気持ち、怒りたくなる気持ち……。いろいろな意見が出ました。自分の気持ちと友だちの気持ちは違って、それぞれでいいということ学びました。

2年生は、相手に伝えるときにどんな言葉で伝えたらよいのか。また、同じことを伝える場合でも、相手の心がチクチク痛くなるような言葉、相手がうれしくなるような言葉があることを学びました。

3年生は、悪気はなくてもチクチク言葉で友達を傷つけている事例をもとに、友達に何かを伝えるときにどんな言葉で伝えるといいのか、どんな言葉は傷つけてしまうのか、考え合いました。

4年生は、いじめの構図について学習しました。いじめに気付かないことは実際にはあることだけれども、気付けるようにアンテナを高くして、いじめに気が付いた時、どうするべきなのかを考え合いました。

5年生は、子どもの権利条約について学習しました。

6年生は、現在も残る歴史的な差別について社会の教科書の記述を抜粋した資料を基に考え合いました。

保護者の皆様、地域の皆さまへのご協力をお願い

東部中学校区学校活性化協議会は、令和8年度の開校に向け、準備部会として「総務部会」「地域・PTA 部会」「学校づくり部会」「学校事務部会」に分けて、いろいろなことを協議しています。

その中の一つとして、在校生の体操服の買い替え、新入児の体操服の購入についても協議しました。内容は、先日文書をお配りしたところです。そこで、おうちに不要になり眠っている体操服がありましたら、ご寄付をお願いします。あと1年ですので、サイズが合わなくなって買い替えなければならない在校生や新入児にお譲りしたいと思えます。お譲りできるものが集まりましたら、絆ネットでお知らせいたします。

